

令和7年度 学校自己評価アンケート集計結果について 令和7年12月実施

回答数 生徒：250人、保護者86人、教職員32人

回答は ①よく当てはまる ②やや当てはまる ③あまり当てはまらない ④全く当てはまらない の4段階

肯定率は ①よく当てはまる ②やや当てはまる の全体での割合

評価点は ①よく当てはまる 4点 ②やや当てはまる 3点 ③あまり当てはまらない 2点 ④まったく当てはまらない 1点 として平均点を算出

質問項目		肯定率						評価点											
		生徒		保護者		教職員		生徒		保護者		教職員							
		R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7						
【A】 学習指導・ 進路支援 について	1	【授業と学び】 授業内で生徒が主体的に学ぶ(課題発見、調査・研究、意見交換など)機会がある。				87	98	83	92	97	97	3.0	3.5	3.1	3.2	3.8	3.6		
	2	【個別最適な学びの環境】 一人ひとりに合った学びや、自分の興味・関心に基づく学びを行う機会がある。					90		84		94		3.2		3.0		3.2		
	3	【教科横断的な学び】 普段の授業や探究活動を通して、生徒が様々な教科の知識をつなげて考える機会がある。					91		93		81		3.3		3.1		2.9		
	4	【授業と「生きる力」】 普段の授業を通して、社会で必要となる力(コミュニケーション能力、問題解決能力など)や、生徒自身の進路を実現する力を育む機会がある。					93		94		97		3.3		3.2		3.4		
	5	【MDPと「生きる力」】 MDP(総合的な探究の時間)での活動を通して、社会で必要となる力(コミュニケーション能力、問題解決能力など)や、生徒自身の進路を実現する力を育む機会がある。				84	92	80	91	89	91	3.0	3.3	3.0	3.2	3.2	3.4		
	6	【探究活動と授業の連携】 普段の授業での学びをMDPで活かす場面がある。				80	69	72	81	71	63	2.9	2.9	2.7	3.0	2.8	2.8		
	7	【進路支援の充実】 生徒一人ひとりの興味・関心や進路希望に応じた、きめ細やかな支援(科目選択、情報提供、面談など)を受けることができる。				91	90	83	81	80	100	91	3.1	3.1	3.2	3.2	3.1	3.3	3.4
	8	【キャリア教育の機会】 地域とのつながりのなかで、社会で働くことの意義や多様な生き方について知る機会がある。					88		83		91		3.2		3.1		3.3		
	9	【家庭学習への支援】 効果的な家庭学習の進め方について、具体的なアドバイスや情報提供がある。					78		63		72		3.0		2.7		2.8		
【B】 生徒の 成長・ 学校生活 について	1	【主体性の育成(学校行事など)】 学校行事や探究活動を通して、生徒が主体性や協調性を育む機会がある。				94	93	88	89	93	91	3.2	3.4	3.4	3.3	3.4	3.5		
	2	【主体性の育成(部活動)】 部活動や委員会活動、生徒会活動を通して、生徒が目標達成に向けて主体的に活動する機会がある。				91	92	88	80	91	82	88	3.0	3.1	3.3	3.1	3.2	3.2	
	3	【自己肯定感と挑戦する意欲】 生徒が自らの良さや可能性を認めて自己肯定感を高められるよう支援し、様々なことに挑戦できる機会がある。				91	88	88	81	93	91	3.0	3.2	3.3	3.1	3.3	3.3		
	4	【社会貢献と協働性】 ボランティア活動や課外活動などを通して、生徒が社会の一員としての責任や、他者と協力することの大切さを学ぶ機会がある。				89	94	86	88	97	100	3.0	3.3	3.1	3.2	3.5	3.5		
	5	【視野を広げる校外活動】 ボランティア活動や課外活動などを通して、生徒が視野を広げ、自分なりの将来を考える機会がある。					92		86		97		3.3		3.1		3.5		
	6	【地域社会への関心】 地域とのつながりのなかで、生徒が自分たちの暮らす社会の課題に関心を持ち、持続可能な社会づくりに貢献しようとする場面がある。				87	90	85	85	93	84	3.0	3.2	3.1	3.1	3.5	3.3		
	7	【多様な文化の理解】 国際交流や様々な学習活動などを通して、多様な文化や価値観を理解し尊重する姿勢を育む機会がある。				94	93	89	86	93	100	3.2	3.4	3.2	3.1	3.5	3.6		
	8	【豊かな情操の育成】 地域の文化に触れたり、芸術を鑑賞したりする機会がある。				90	90	93	91	97	91	3.1	3.3	3.4	3.2	3.3	3.2		
	9	【基本的な生活習慣と規範意識】 あいさつをはじめ、社会のルールやマナーの指導を適切に行っている。				89	92	75	88	78	63	3.1	3.3	3.0	3.2	2.9	2.7		
【C】 学校運営・ 環境 について	1	【教育相談体制と対応】 いじめや友人関係の悩みなど困ったことが起きたときに、気軽に相談でき、迅速に対応してくれるという安心感を生徒や保護者に与えている。				90	88	66	77	100	94	3.0	3.2	2.3	2.9	3.7	3.2		
	2	【情報発信とコミュニケーション】 ウェブサイトや広報誌、保護者会、連絡アプリなどを通して、生徒の学校での様子や教育活動について適切に発信している。				89	94	89	93	100	97	3.0	3.3	3.5	3.3	3.8	3.6		
	3	【保護者・生徒の意見の尊重】 保護者や地域が学校の教育活動に参加し、共に生徒を育てる機会を作っている。					90		86		88		3.2		3.1		3.1		
	4	【学習環境の整備】 ICT機器などが充実して使える学習基盤を整えている。				80	95	81	92	78	88	2.9	3.4	2.9	3.3	3.1	3.6		
	5	【ICT活用と情報モラル】 SNSの正しい使い方や情報モラルについて指導を適切に行っている。				92	94	85	79	97	81	3.2	3.3	3.2	3.0	3.7	3.1		
	6	【防災・安全指導】 防災訓練などを通じ、台風・火災・地震など災害時の適切な避難方法など、生徒の安全を守るための指導を行っている。				88	89	67	87	93	81	3.0	3.3	2.4	3.1	3.5	3.2		
	7	【会計報告の適正化(※保護者・教職員のみ)】 学年団会計や部活動会計などを適正に処理し、保護者に分かりやすく報告している。						80	86	100	100			3.1	3.2	3.8	3.6		
総括	【総括: 総合満足度】 生徒が学びや学校生活に満足できるような教育活動を行っている。				86	91	91	90		84	3.0	3.3	3.4	3.2		3.3			